

大学スペイン語教授法強化講座：「スペイン語教育力向上を目指して」

日時：2017年3月18日(土)

場所：東北大学 川内北キャンパス

スペイン語初級授業におけるアクティブ・ラーニング —異文化能力育成の視点から—

早稲田大学文学学術院講師 四宮瑞枝

外国語教育は、言語構造とその使い方を学ぶだけでなく、異文化・自文化に関する知見を深め、多文化社会において適切な行動を取れると態度を養うことを目的とするものであり、人間教育としての広い枠組みでとらえる必要があります。こうした異文化学習の重要性に対する認識はこの15、6年で徐々に深まってきており、教科書・教材にも大きな変化が見られるようになってきていますが、文化を扱うことの難しさと方法論を教員たちがどれだけ理解して授業に臨んでいるのかという問題があります。一方、学習者が能動的に学習に参加するアクティブ・ラーニングへの関心も近年急速に高まっていますが、学生との意見交換やグループワークなどを取り入れても、教員の関わり方やフィードバックの方法が適切でなければ、その効果は期待できません。

本セッションは、大学のスペイン語初級授業で、異文化学習とアクティブ・ラーニングを効果的に実践する方法について考えることを目的としています。異文化能力育成の基本的理論とアクティブ・ラーニングの基本的考え方を概観した後、有効なアイデア、実践例を紹介し、それらを発展させて効果的に行う方法をワークショップ形式で皆さんとご一緒に考えたいと思います。